

産廃処理の総合専門誌「いんだすと」

INDUST

2021 OCTOBER 10
NO.408

特集 低炭素から脱炭素へ!? ②

公益社団法人 全国産業廃棄物処理業連合会
定額1,300円(1,200円+消費税)

2021 (令和3年) 10月15日 (水) 発行 発行所 公益社団法人 全国産業廃棄物処理業連合会 東京都千代田区千代田1-17-1 電話 03-5561-1117 定額1,300円(1,200円+消費税)

〒106-0022 東京都港区赤坂2-8-17
INDUST「いんだすと」編集部 電話 03-5561-1117
FAX 03-5561-1118



特集 低炭素から脱炭素へ!? ②

連載 2050年に向けて 資源循環産業化へのハードル
「デジタル」
「化学リサイクルと水素社会」

電子版も好評配信中!

電子版「いんだすと」には
さまざまなメリットがあります。(頁次参照)

竹井 綾香さん 株式会社御池鐵工所

設計を担当しながらPCR検査も携わる

RPFや木質ペレットの製造機、容器包装プラスチックリサイクルプラントを提供する御池鐵工所（広島県福山市）。最近ではAIロボット選別機を市場に投入し、すでに実機も稼働している。脱炭素に向けて未利用資源のマテリアルリサイクルに注目が集まる中、社会需要に対応する新しい装置の設計に携わっているのが今回紹介する設計部4課の竹井綾香さんだ。全設計部署で6人在籍する女子設計者の一人で、現在は後輩の指導や新人採用にも関わっている。

——業務内容から教えてください。

コンピュータを使って設計する3DのCAD（キャド）システムで機器の設計を行っています。立体的に設計していくので、平面の設計ではわからない細かな部分が把握できて楽しいです。環境に関わる仕事に

就きたくて大学の先輩が在籍していたこともあり入社しました。今年で3年目です。実は、大学では生物を専攻していたので、工学系の勉強は入社してから学ばせていただきました。当初は装置を構成する各部品

がどのような役割をもつものかわからないこともありましたが、自分の設計を経て装置が完成すると達成感があります。

——生物を専攻されていたとのことですがそのスキルも生かせることはありますか。

PCR検査を行った経験があるので、社内での検査を担当しています。多い時は1日20件ぐらい検査をします。

——すでに後輩もいらっしゃるようですね。

教育係を任されています。具体的に何をやるかは決めていませんが、私がとにかく自分の手を動かして覚えたことが、一番勉強になりましたので、それを踏襲してもらえたらと思っています。



趣味はコロナになる前は頻繁に出掛けていた国内旅行。神戸が良かったという